

ようこそ池田へ

ウォンバットが やって きた!!

市内外問わずたくさんの方に
親しまれている五月山動物園。

このたび、同園に新たに個性豊かな
ウォンバットが2頭やって来ました。

新しく生まれ変わる動物園で
皆さんと会えるのを楽しみにしています。

問合せ みどり農政課 ☎ 754・6275

8年ぶりに 新たなウォンバットが来てくれました

10月3日13時30分ごろ、五月山動物園に新しいウォンバットが到着しました。到着後の2頭は緊張した様子を見せながらも、元気に歩き回る姿を見せてくれました。平成2年にオーストラリアから「動物親善大使」として本市にやって来てから、今年で35年。新しいウォンバットの来園は8年ぶりで4度目となります。今では本市だけでなく全国のファンに愛され、SNSなどでも話題となっているウォンバットたち。新しく生まれ変わる動物園で皆さんと会えるのを楽しみにしています。

※同園は現在閉鎖中のため、ウォンバットの見学はできません。

■ ウォンバットとは

オーストラリア南東部やタスマニア島の丘陵地に穴を掘って巣を作り、生息しています。コアラなどと同じ有袋類の草食動物で、繁殖期以外は単独で生活。夜行性なので視力は良くありませんが、鋭い嗅覚を持っています。普段は内股でノソノソと歩きますが、走ると速いという意外性もあります。



五月山動物園ウォンバットの歩み

平成2年 ウォンバット初来園

ワイン♂・ワンダー♀・ティア♀の3頭がローンセストン市との姉妹都市提携25周年を記念し、友好の証として来園。



平成4年 サツキ♀が誕生

日本初（オーストラリア国外としても初）となる繁殖に成功。



平成5年 続いてサクラ♀が誕生



平成19年 フク♂・アヤハ♀が ペアで来園



平成29年 マル♀・ユキ♀・ コウ♂ が来園



令和4年 ワイン♂がギネス記録に認定 飼育下でのウォンバットの最高 齢に認定。





オーストラリアでの呼び名 ウーメラ

性別 オス 体重 約20kg

性格 好奇心旺盛 かも

日本に来て間もなく、はっきりとした性格が分かるまでまだ時間がかかりますが、好奇心旺盛な一面があります。音や人の気配がすると逃げますが、最近は環境に徐々に慣れてきたのか外では野草を食べたり、匂いを嗅ぎます。壁越しではありますが飼育員の近くに来てくれることが徐々に増えてきました。穴掘りがとても上手です。

新たな2頭のウォンバットの特徴をご紹介します

オーストラリアでの呼び名 ウーキー

性別 オス 体重 約19kg

性格 マイペース かも

まだ環境に慣れず不安定なところがあり、怖がりです。ただ、リラックスして寝たりとマイペースな一面を見せてくれます。高い所に登って寝ることが多いので、高い所が好きなのかなと飼育員の間でうわさしています。まだ穴がうまく掘れないのでこれからの成長が楽しみです。



動物園の先輩ウォンバット



ワイン

とても人懐っこく甘え上手で青草が大好きです。丸くて大きい瞳がチャームポイント。飼育下での世界最高年齢で人間に例えると100歳を超えています。



フク

遊ぶのが大好きで、気が強いところもありますが、フェンス越しになでて欲しがるなど甘えん坊な一面もあります。



ユキ

右足の先が白いのが特徴で動物園唯一の女の子です。おてんばな性格で高いところが大好きです。穴掘りが得意です。

ID 20201

ウォンバットの愛称

ご応募
お待ち
しています!

大募集

新しく仲間入りした2頭のウォンバットに
すてきな愛称を付けてみませんか。

募集期間 11月18日(火)17時まで

応募方法 右記二次元コードまたは直接みどり農政課
窓口。
※応募は1人1回まで。



▲応募フォーム

WOMBAT AREA

新・ウォンバットエリア

のご紹介



リニューアルについて

6年6月から全面リニューアルのため閉鎖している五月山動物園。工事終了は9年度の予定ですが新しい2頭のウォンバットの来園に合わせて新ウォンバット

獣舎が完成しています。開園はまだ先になりますが、今か今かと待ちわびているウォンバットファンのために新しいすみかの特徴をいち早くお届けします。

INTERVIEW : 01



西野
ウォンバット企画監

新しい2頭のウォンバットは、オーストラリア・ワイルドライフサンクチュアリのケリー園長の好意で受け入れができました。

これまでの本市ウォンバットの取り組みにご協力いただいた皆さまに感謝を申し上げます。

現在は、「ウォンバットと暮らすまち池田」をめざし、市職員有志のウォンバット課（自称）を含め、官民が連携をしながらまちを盛り上

げているところです。

9年度に開園70周年を迎える五月山動物園は、昭和32年の開園後、初めて全面リニューアルを実施しています。市民ワークショップで出た「バリアフリー化され長く滞在できる動物園にしてほしい」などの意見を盛り込んだ新しい動物園の開園を今しばらくお待ちください。

POINT 01

巣穴が見られる地中展示室

大きなガラススクリーンが特徴的でウォンバットの巣穴が見える構造になっています。運が良ければ、ウォンバットがせっせと巣穴を掘っている姿に出会えるかもしれません。



POINT 02

ウォンバットの生息環境の再現

オーストラリアに自生する樹木を使って、ウォンバットが生息している環境を再現しています。放飼場に傾斜をつけることにより、ウォンバットと同じ目線の高さで見ることができます。五月山を借景に、より自然に近い風景で、のびのびとしたウォンバットを眺めることができます。



POINT 03

バリエーションに富んだ ウォンバットと人との境界柵

ウォンバットと人を仕切る柵は、フェンスだけでなく、ガラスブロックやレンガブロックを使ったものや、カメラを構えたときに、レンズに映りにくい高視認性のワイヤーネットを使用しています。



POINT 04

特徴的でウォンバットが 見やすい建物の配置

全部で4つあるウォンバット専用の獣舎は、曲線のフォルムで特徴的な構造になっています。また、今までのウォンバットゾーンでは見ることができなかった、獣舎の中で過ごすウォンバットの様子も見やすい構造になっています。



INTERVIEW : 02



秋山飼育員

ウォンバットたちが新しい環境に慣れてくれるか不安な面は多々ありますが、リニューアルした新しい獣舎でウォンバットたちが安心して遊んだり、ご飯を食べている日常を皆さんに見ていただけるように、環境作りに励みます。

INTERVIEW : 03



三輪飼育員

新しいウォンバット2頭がついに仲間入りしました。今まで住んでいた所から離れて、不安でいっぱいだと思うので、少しでも安心できる環境を作れるように頑張りたいと思います。新しい環境に慣れるまで温かく見守ってください。